

令和3年定例9月会議一般質問

質問者	質問事項及び要旨	質問の相手
末永一朗	<p>水産加工施設の今後の取組について</p> <p>平成30年に整備され今日に至っている水産加工施設だが、未利用・低利用の魚を買取り、再利用して漁業者の所得向上につなげるという計画で造られたと思う。しかし、漁業者の所得向上にはほとんどなっていない。</p> <p>なんとかこの施設を活かすよう漁業者との話し合いも何度となくもうけたがそれが実行されていない。なぜ事業が前に進まないのか。</p> <p>せっかく作られた施設なので、漁業者・管理者がお互いに協力し合って実になる事業となるよう前へ進めるため、次の3点について伺う。</p> <p>①施設に専門的人材を置く考えはないか。</p> <p>②パートの時間給を上げる考えはないか。</p> <p>③漁業者と買取り単価について話し合いをする考えはないか。</p>	町長
今田光弘	<p>新型コロナウイルス感染症に関して</p> <p>小値賀町の人口約2300人(接種対象者は約2150人)のうち、2回のワクチン接種を終えた人は約1900人。接種対象者の接種率は90パーセント近くに達している。</p> <p>長崎県には8月27日から9月12日まで、まん延防止等重点措置が適用されている。</p> <p>①ワクチン未接種者への対応について。</p> <ul style="list-style-type: none">・先日の回覧によると、ワクチンの在庫は200人分程度とのこと。200人を超えて接種の申し込みがあった場合どうするのか。また、200人に届かない場合の余ったワクチンの取り扱いは。・ワクチン接種の効果は高いとされている。接種していない人たちに接種を促すメッセージ、アピールを町として出した方がいいのでは。	町長

②町民への自粛要請と来島者への呼びかけについて。

- ・町民へのコロナ対策の注意喚起は、毎日憂鬱になるほど厳しいものだ。重点措置が適用されている間はやむを得ないが、一方で、観光客には来島自粛を求めている。ワクチン接種を完了していない観光客に対しては、「今は島には来ないで」とお願いしてもいいのでは。
- ・重点措置が解除されたら町民への注意喚起をゆるめ、ワクチン接種済証があれば、観光客もPCR検査不要で来島を受け入れていいのでは。

③エッセンシャルワーカーに対する支援を。

- ・今までは全町民に配布していた商品券を、コロナ対策第4弾として、エッセンシャルワーカー(生活の根幹を支える医療や福祉、インフラ関係、保育や第一次産業、役場や消防・警察、物流や小売業などで働く人)の皆さんに限って配布してはどうか。

④アフターコロナは「安心して暮らせる小値賀町」をキーワードに。

- ・世の中の疲れている人たちを等身大で受け入れ、本当の小値賀町の良さ、豊かさ、安心安全を実感してもらうことができれば、それがアフターコロナ時代の本町の観光資源・移住者対策の一つになると思う。「安心して暮らせる小値賀町」をキーワードにし、ハード・ソフト両面から町がリーダーシップを発揮し、町民を巻き込んでピンチをチャンスに変えるアフターコロナを目指してほしいと思うがいかがか。